

広がる自然葬、樹木葬

石碑を建てた墓ではなく海や山に散骨する「自然葬」や木を墓標とする「樹木葬」など、埋葬のあり方が多様化している。墓石を用いないことに抵抗感が根強い一方、核家族化や少子化で墓の管理が難しくなっている側面もあり、シニア層の関心は高い。今秋、自然葬と樹木葬用に墓地の一角を整備した東福寺(京都市東山区)を中心に取材した。

(黒川裕生)

自然の大きな循環の中に
 回歸するというのが自然葬
 の考え方。直接遺骨を自然
 に返し、人工物の墓標を用
 いないものを指す。自然葬
 そのものについて、国は「違
 法性なし」との見解を示し
 ている。

樹木葬も広義には自然葬
 のひとつで、里山型と都市
 型がある。前者は墓地であ

遺骨いずれば土に ■墓管理の不安なく

里山に遺骨を埋めて墓標
 となる木を植え、里山保全
 につながるやり方だ。後者
 は1〜数本の木の周辺を区
 分けして埋葬する方式で近
 年増えている。樹木葬は1
 999年に若手県一関市で
 始まった里山型が始まりと
 される。

東福寺塔頭の即宗院は9
 月、コクマザサを敷き詰め
 て自然葬用の自然苑(約2
 00平方メートル)を整えた。シ
 イヤカシ、ヤマザクラなど
 に囲まれた静かな場所だ。
 25坪四方の1区画に2体ま
 で入ることができる。宗派



完成したばかりの即宗院の自然葬エリ
 ア。杉井玄慎住職は「ずっとやりたかつ
 た」と話す=京都市東山区

京都の寺院や神戸の霊園

や国籍、継承者の有無は問
 わない。骨つぼではなくさ
 らし木綿に遺骨を包んで埋
 葬する。

杉井玄慎住職(62)は「も
 ともと日本には土葬の習慣
 があった。墓石がないのは
 特異なことではなく、本来
 の形に近いのはこちらでは
 ないか」と話す。

別の塔頭莊嚴院でも同時
 に、シタレザクラとカエデ
 の植えられた樹木葬エリア
 が完成。こちらは1区画20
 坪四方で、同じく2体まで
 入れる。

阪神間に住む女性は数カ
 月前、夫を病気で亡くした。

年中太陽を浴び、季節を感
 じられる。お父ちゃんが
 ずれ土に返り、サクラの木
 の栄養になったらいいな

親類との人間関係に悩み、
 通常の墓への埋葬は考えら
 れなかった。同院の樹木葬
 を知り、「納得できる供養と
 出合えた」と感じたという。

「上に墓石がないので、
 背景がある。」

業界最大手「メモリアル



神戸聖地霊園の樹木葬。ソメイヨシノの根元に芝生を
 敷き、30坪画に区切っている=神戸市北区

アートの大野屋(東京は、
 神戸聖地霊園神戸市北区
 で2008年から永代供養
 の樹木葬を手掛けている。
 関西では初めての試みとし
 て注目を集め、四国や北海
 道からも申し込みがあつ
 た。造成した340区画は
 大半が契約済みで、8月末
 に313区画を増設した。

同社兵庫営業所所長の下
 村太郎さん(40)は「墓の継
 承を不安に思う方が多く、
 無縁墓を防ぐ目的で始め
 た。6割程度が生前予約」
 と説明する。

09年に母を78歳で亡くし
 た神戸市内の姉妹は、墓の
 管理を理由に同霊園の樹木

葬を選んだ。本家の墓は姫
 路市にあるが、樹木葬にす
 るため分骨した。姉妹は子
 どもたちのことを思つと、
 私たち自身のお墓もこうい
 う形の方がいいのかもしれない」と話す。

樹木葬などの自然葬は、
 墓地や墓石を購入する従来
 の埋葬ほど費用がかからな
 い。

例えば神戸聖地霊園で
 は、墓を建てる場合、最低
 でも土地1区画分の永代使
 用料約55万円、墓石代約90
 万円、年間の管理料約3千
 円などが必要。樹木葬なら
 30万円(共同納骨は9万円)
 で管理料はかからない。莊
 嚴院、即宗院も1人50万円
 (2人70万円)だ。

即宗院、莊嚴院への問い
 合わせは運営事務局07
 5・3225・1515▽神
 戸聖地霊園078・59
 4・0111

